

## 福岡市土木建設協力会「令和8年度通常総会」開く 城本会長を再選、“地域の守り手”として市民の安全・安心を



新役員や令和8年度事業計画等を決めた「通常総会」

(一社)福岡市土木建設協力会(城本哲也会長)の「令和8年度通常総会」は20日、福岡市のホテルオークラ福岡で開催された。総会には会員26人(委任状70人)が出席し、新入会員の紹介、工事成績優良業者表彰、令和7年度の事業実績、委員会活動の報告を承認、令和8年度の事業計画、正味財産増減予算書などを決めた。任期満了に伴う役員改選では理事や監事に8人が選出された。総会後は来賓を招いた懇親会が開かれ参加者同士の交流が図られた。

総会の挨拶で、城本会長(榊城建設)は「我々の土木建設業界は、働き方改革の推進、生産性向上への取り組み、さらには担い手の確保など、多くの課題に直面しております。加えて、中東情勢の緊迫化に伴う原油価格の高騰や物流停滞の影響により、建設資材の不足や納入遅延、燃料・資材価格の急激な上昇など、経営環境は一段と厳しさを増しております。協力会といたしましても、会員企業の経営基盤の安定と事業量の確保に向け、引き続き取り組んでまいります。また、近年ではインフラの老朽化に起因する事故や、豪雨・地震などの自然災害が全国各地で頻発しており、地域の安全・安心を守る重要性はますます高まっております。私ども



総会挨拶の城本会長

は福岡市の地場建設業者の集まりとして、“地域の守り手”という使命のもと、市民の皆様の安全・安心の確保に努めるとともに、福岡市のさらなる発展と市民生活の安全確保に貢献してまいります」と挨拶した。

このあと、新入会員1社の紹介と令和7年度工事成績優良業者表彰があり、議事進行は城本会長を議長に選出し、①令和7年度正味財産増減決算、②令和7年度事業実績と各委員会の活動報告、③令和8年度事業計画、④令和8年度正味財産増減予算が審議承認された。新



令和8年度の新役員紹介

年度の事業計画では、①総会・役員会等の開催、②教育、③労働安全・災害、④調査・研究、⑤情報・資料の提供、⑥行政との協調、⑦福利厚生、⑧委員会活動、⑨関係機関・団体との会合等を推進する。役員改選では、理事に原雅彦氏（㈱原通信建設）、山口裕己氏（㈱山義建設）、監事に信國秀明氏（西光建設㈱）、村瀬正治氏（徳安建設㈱）が新任された。

総会後の懇親会では、福岡市の光山裕朗副市長と幹部職員、福岡市議会の平畑雅博議長、関係議員、業界団体の関係者らが多数出席。来賓挨拶

として福岡市の光山裕朗副市長は「現在の福岡市のまちづくりは、都心部を中心に“天神ビッグバン”や“博多コネクティッド”といった大規模プロジェクトが着実に進展しており、福岡市の都市機能や魅力はさらに高まっていくものと期待しております。一方で、建設業界を取り巻く環境は依然として厳しく、中東情勢の影響によるエネルギー価格の高騰に伴い、アスファルトや塗料など各種資材の価格上昇や調達への影響が続いております。福岡市としても、ICT活用の推進や適切な工期設定、資材価格高騰への対応など、皆様が働きやすい環境づくりに努めてまいります。皆様には、引き続き高い技術力を発揮していただき、福岡市の発展と市民生活の向上にお力添えを賜りますようお願い申し上げます」と挨拶した。続いて、福岡市議会の平畑雅博議長は「先週開催されました福岡市道路下水道局の水防訓練におきましては、多くの皆様にご参加いただき、浸水対策用の土嚢800個をわずか20分という短時間で作成していただきました。毎年のようにご協力を賜っており、心より感謝申し上げます。現在、業界を取り巻く環境は中東情勢の影響などにより大変厳しい状況にありますが、こうした課題に対しましては、福岡市、国、そして関係団体が一体となって対応していく必要があると考えております。今後とも、皆様には地域の基盤整備をしっかりと担っていただけるよう、市議会としても全力で支えてまいりますので、引き続きのご協力をお願い申し上げます」と挨拶した。



来賓挨拶の光山副市長



来賓挨拶の平畑議員



乾杯の海山副会長

このあと、海山次貴副会長（㈱海山組）が乾杯の発声を行い、土木建設協力会の更なる発展を願って、和やかに親睦を深めた。

「令和8年度役員」

▽会長＝城本哲也（㈱城建設）、▽副会長＝海山次貴（㈱海山組）、原康城（原康建設㈱）、甲斐絵里（フクシ㈱）、▽理事＝大神幸一（㈱大神産業）、武末一人（㈱武末建設工業）、原雅彦（㈱原通信建設）、山口裕己（㈱山義建設）、吉岡宏史（吉岡工業㈱）▽監事＝高木和浩（㈱松本組）、信國秀明（西光建設㈱）、村瀬正治（徳安建設㈱）

「新正会員」

広洋建設工業㈱（福岡市博多区）